

1 金沢魅力発信行動計画

平成26年度末の北陸新幹線の金沢開業に向けて、その効果を最大限に引き出すために、新幹線に対応した各種施策に取り組む具体の行動計画として、金沢魅力発信行動計画をとりまとめました。

平成19年度から平成25年度までの7か年の計画とし、前期（19～21年度）、中期（22～23年度）、後期（24～25年度）に区分し段階的に実施していきます。また、毎年見直しを行うこととしており、**今回24年2月の時点で計画を見直しました。**

特徴

- 1 新幹線の開業に向けた行動計画として、実施すべき施策やそのスケジュールを具体的に提示します。
- 2 その実効性を確保するため、予算に特別枠を設け、財政面でも特に配慮します。
- 3 継続的に来街を促進するためには、情報発信のみでは不十分で、まちの魅力全体を高めていくことが不可欠との観点から、魅力のあるまちづくりに重点を置いています。
- 4 施策・スケジュールの一層の充実・具体化や、進捗状況の確認を図るため、毎年見直しを実施します。

1 国内外から多くの人々が来街したくなるような“魅力あるまち”をつくります

本市は幸いにして400年以上にわたり戦禍に見ることがなかったこともあり、江戸時代から現代に至るまで連続と培われてきた文化があることから、これを魅力あるまちづくりに活用します。また、本市には緑が多く、川や用水により水が豊かであるといった自然環境に恵まれており、この環境によって培われた食文化や新たなライフスタイルの提案も含め、豊かな都市環境を活用した魅力向上を図ります。

金沢が培ってきた文化の継承・活用・育成

- 1 歴史遺産・伝統工芸等の文化に対するアイデンティティを形成します
- 2 歴史遺産の文化財指定を推進します
 - ・野田山前田家墓所、辰巳用水の国史跡指定、三寺院群の文化財指定
 - ・城下町金沢及び周辺域の文化的景観の保全（重要文化的景観の国選定） など
- 3 文化財を保存・管理します
- 4 歴史遺産を活用したまちづくりを推進します
 - ・金澤町家の継承と利用活性化、近代金沢の歴史遺産の調査等 など
- 5 伝統芸能・文化等の魅力向上を図ります
 - ・金沢21世紀美術館の魅力向上、鈴木大拙館の整備
 - ・金沢・現代会議の開催、金沢の建築文化の発信
 - ・金沢の伝統文化の体験（ほんもの文化体験） など



卯辰山麓寺院群



鈴木大拙館

豊かな都市環境の維持・活用

- 1 美しい都市景観を形成します
 - ・景観政策の強化（高さの規制の拡大など）、無電柱化の推進 など
- 2 自然環境の維持・活用を図ります
 - ・緑化の推進（都心軸の沿道飾花など）
 - ・まちなか歴史的用水の再生（辰巳用水・大野庄用水の開渠化等） など
- 3 食文化の魅力向上を図ります
 - ・加賀野菜のブランド力強化と販売促進、金沢料理・和菓子の情報発信 など
- 4 新たなライフスタイルを提案します
 - ・新幹線を活用した新たな居住スタイルの推進（金澤ふうライフの提案）



せせらぎ通り（無電柱化後）

2 “まちの賑わいを創出”します

文化的な魅力や豊かな都市環境があっても、一方で賑わいや活力がなければ、魅力のある都市とは言えません。そのため、まずは、都心軸の再整備などを通じてまちなかの賑わいを創出するとともに、この地域に高等教育機関が集積しているというメリットを活かして、学術・コンベンション機能の強化を図ります。また、金沢港の整備が進んでいること等を踏まえ、港湾活用型企業の集積を進めるとともに、創造性と多様性に富んだものづくり産業を育成することにより、賑わいの源となる経済基盤の強化を図ります。

まちの賑わい創出・ものづくり基盤の強化

- 1 まちなかの賑わいを創出します
 - ・都心軸の再整備の推進（老朽ビルの近代化・機能向上の支援等）
 - ・都心軸の賑わい創出（金沢JAZZ STREETの開催、公衆無線LANの整備促進、魅力発信アプリの開発促進、まちなかキャンパスの形成 など）
 - ・スポーツによる賑わい創出（シティフルマラソンの開催） など
- 2 学術・コンベンション機能を強化します
 - ・大学間連携の強化による学術機能の充実と有効活用
 - ・ユネスコ「創造都市ネットワーク」への登録
- 3 ものづくり基盤を強化します
 - ・金沢港の整備・活用
 - ・クラフトのビジネス化、かなざわ生活工芸ショップ（仮称）の開設 など



金沢JAZZ STREET



かなざわ生活工芸ショップ（仮称）